

平成 27 年度

# 学 校 要 覧



〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子浜1-6-1 音威子高等学校

TEL 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838

ホームページ <http://otoneppu.ac.h.server-shared.com/>

Eメール [otoneppu@seisaku.ocn.ne.jp](mailto:otoneppu@seisaku.ocn.ne.jp)

## 北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子浜1-6-1 音威子高等学校

TEL 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838

ホームページ <http://otoneppu.ac.h.server-shared.com/>

Eメール [otoneppu@seisaku.ocn.ne.jp](mailto:otoneppu@seisaku.ocn.ne.jp)



# 目 次

校章・校歌	1
沿革の概要	2
北海道教育の基本理念	3
上川教育推進プラン・音威子府村教育目標	4
校訓・学校教育目標 重点目標 経営方針 教育課程編成の方針 指導上の重点項目	5
学校経営方針	6
学校経営シラバス	7
教育課程表 平成27年度入学者教育課程表 学年別教育課程表	8
組織及び構成 組織構成図 各種委員会の役割 教職員の構成 教職員一覧	10
生徒状況 生徒出身地別人数 生徒数 進路状況 卒業生総数 生徒会機構 部活動組織	12
日課表・各種団体	14
各分掌の計画 教務部 生徒指導部 進路指導部	15
学年・学級・学科経営計画 第1学年 第2学年 第3学年 工芸科	24
総合的な学習の時間全体計画	31
特別活動全体計画	32
学年別LHR活動年間指導計画 第1学年 第2学年 第3学年	35
道徳教育全体計画	38
高大連携教育計画	39
学校間連携教育計画	40
いじめ対策	41
校舎平面図・施設設備の概要	43
チセネシリ寮概要 寮生数 寮運営機構 寮平面図	44
安全計画と安全管理	45
年間行事計画表	49

# 校章



音威子府村は馬鈴薯の名産地であることから、その葉の形を描き、三方に配してあらゆる方面に発展してゆくという意味をもたせた。

なかの文字は、音威子府の「音」の字を外側に書き、そのなかに「高」の文字を配した。

# 校歌

作詞 鳥本 勇  
作曲 浅井 昌明

てん ぼく の み ね あ い よ る は ざ い ま  
 か っ こ う よ べ ば み ど り が こ た う  
 わ か き い の ち の あ ふ る る ま ゆ に  
 し ん り と せ い ぎ あ お ぎ て つ ど う た た え  
 よ た た え よ あ あ わ が が く え ん

# 校歌

作詞 鳥本 勇  
作曲 浅井 昌明

- 一、天北の嶺 相寄る間  
 かつこう呼べば 緑が応う  
 若き命の 溢るる眉に  
 真理と正義 仰ぎて集う  
 讃えよ 讃えよ  
 あ、我が学園
- 二、天塩の流れ 紫紺を映し  
 白雲悠々 牧場のサイロ  
 若き命の 高なる胸に  
 自主と自由を あこがれ集う  
 栄えあれ 栄えあれ  
 あ、我が学園
- 三、六華かがやき 霧華きらめく  
 平和の郷や 夢はるかなり  
 若き命を 清らに寄せて  
 友愛の手を むすびて集う  
 麗わし 麗わし  
 あ、我が学園

# 沿革の概要

- 25. 4. 1 北海道名寄農業高等学校音威子府分校として認可
- 25. 5. 10 開校式挙行
- 25. 10. 1 北海道名寄高等学校音威子府分校と改称
- 25. 12. 20 本校舎 (90.75㎡) 竣工
- 26. 9. 30 本校舎 (254㎡) 竣工
- 28. 2. 3 北海道音威子府高等学校と称す
- 28. 12. 30 本校舎2階 (72.6㎡) 増築竣工
- 29. 8. 1 北海道札幌南高等学校通信教育部委嘱校となる
- 30. 6. 1 定時制課程第一種高等学校に認可
- 32. 6. 1 北海道札幌南高等学校通信教育部地方協力校となる
- 33. 11. 14 本校舎2階 (181.5㎡) および玄関増築落成
- 35. 9. 12 創立10周年祝賀式典 (PTAよりグランドピアノ寄贈)
- 38. 4. 1 工業科目を採択、自動車一般の授業始める
- 38. 6. 22 工業実習室並びに公務補室竣工
- 38. 6. 30 自動車練習場設置
- 41. 8. 10 旧校舎2階建 (1,343㎡) 落成
- 43. 11. 8 屋内体育館 (735㎡) 落成
- 44. 12. 5 創立20周年記念祝賀式典
- 50. 3. 31 自動車一般の授業やめる
- 52. 12. 9 高校振興調査委員会発足
- 53. 4. 1 芸術として工芸、職業科目としてインテリア実習を採択
- 53. 5. 24 工業実習工場の改造によるインテリア実習室竣工
- 53. 6. 30 インテリア実習室竣工披露
- 54. 2. 5 「工芸クラブ・インテリア教室・地名調査部」の地域文化の発展に寄与した活動により「北海道知事賞」を受賞
- 54. 10. 15 寄宿舎 (チセネシリ寮) 落成、入寮式挙行
- 54. 12. 7 第1回木の手づくり展開催 [名寄]
- 55. 9. 27 創立30周年記念式挙行
- 55. 11. 14 第2回木の手づくり展開催 [旭川] [札幌] [名寄]
- 55. 11. 30 寄宿舎 (チセネシリ寮) 全館落成、124人収容
- 56. 6. 27 「第4回北海道青少年科学文化振興賞」を受賞
- 57. 2. 15 第3回木の手づくり展開催 [名寄]
- 58. 2. 3 第4回木の手づくり展開催 [名寄]
- 58. 11. 11 第5回木の手づくり展開催 [旭川] [名寄] [札幌]
- 58. 12. 9 村立全日制課程・工芸に関する学科、工芸科へ転換認可
- 59. 4. 1 同上発足 (1開口、定員45名)
- 60. 1. 21 第6回木の手づくり展開催 [名寄]
- 60. 12. 20 新校舎 (第1期工事) 完成
- 61. 1. 10 第7回木の手づくり展開催 [札幌]
- 61. 10. 25 新校舎上芸棟 (第2期工事) 完成、落成記念式典
- 62. 3. 10 全日制工芸科第1回卒業生
- 62. 3. 31 定時制課程閉課
- 63. 1. 7 第8回木の手づくり展開催 [札幌]
- 63. 2. 25 上川管内教育実践表彰を受賞
- 63. 11. 5 第9回木の手づくり展開催 [旭川]
- 63. 11. 30 チセネシリ寮学習室増築完成
- 2. 1. 8 第10回木の手づくり展開催 [札幌]
- 2. 5. 24 創立40周年記念 標本樹木植樹
- 2. 11. 14 第11回木の手づくり展開催 [旭川]
- 2. 12. 3 創立40周年記念 学校名標示塔建立
- 4. 1. 6 第12回木の手づくり展開催 [札幌]
- 4. 11. 18 第13回木の手づくり展開催 [旭川]
- 6. 1. 4 第14回木の手づくり展開催 [札幌]
- 6. 11. 15 第15回木の手づくり展開催 [旭川]
- 6. 12. 15 屋内体育館 (1003㎡) 改築落成
- 6. 12. 15 家庭科棟 (535㎡) 増築落成
- 7. 1. 20 情報機器21台導入
- 7. 9. 30 旧体育館跡地外構工事完成
- 8. 1. 8 第16回木の手づくり展開催 [札幌]
- 8. 9. 29 第17回木の手づくり展開催 [札幌]
- 9. 8. 13 第18回木の手づくり展開催 [旭川]
- 10. 10. 6 第19回木の手づくり展開催 [札幌]
- 11. 10. 6 第20回木の手づくり展開催 [札幌]
- 11. 10. 19 校訓披露式挙行
- 12. 10. 3 第21回木の手づくり展開催 [旭川]
- 12. 10. 28 創立50周年式典挙行
- 13. 8. 17 寄宿舎 (チセネシリ寮) 改修工事竣工
- 13. 10. 6 第22回木の手づくり展開催 [札幌]
- 14. 1. 11 村議会において、校名変更に関する条例案が可決
- 14. 3. 6 村議会において、女子寮増築可決
- 14. 4. 1 北海道おといねっふ美術工芸高等学校へ校名変更
- 14. 8. 18 女子寮増築落成
- 14. 10. 12 第23回木の手づくり展開催 [札幌]
- 15. 10. 11 第24回木の手づくり展開催 [札幌]
- 16. 2. 10 第53回全国高等学校スキー大会 総合優勝
- 16. 6. 28 第1回上川合同庁舎生徒作品展 [旭川]
- 16. 9. 24 第25回木の手づくり展開催 [札幌]
- 16. 10. 16 音威子府村100周年記念式典
- 16. 11. 5 産業教育フェア [札幌]
- 17. 2. 9 第54回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連覇
- 17. 6. 27 第2回上川合同庁舎生徒作品展 [旭川]
- 17. 10. 17 第26回木の手づくり展開催 [札幌]
- 18. 6. 26 第3回上川合同庁舎生徒作品展 [旭川]
- 18. 8. 14 第27回木の手づくり展開催 [札幌]
- 18. 10. 1 学校評議員会設置
- 19. 2. 22 上川管内教育実践表彰を受賞
- 19. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 (H19・20年度)
- 19. 5. 18 高大連携事業調印式 (北海道東海大学)
- 19. 6. 25 第4回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 19. 10. 15 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 19. 10. 19 美術工芸教育実践研究発表会
- 19. 11. 5 第28回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 20. 5. 17 国際理解教育 (生徒2名、教員2名派遣)
- 20. 6. 30 第5回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 20. 7. 1 アジアプリントアドベンチャー壁画制作 [音威子府]
- 20. 8. 11 第29回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 20. 10. 14 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 20. 10. 14 スウェーデン レクサンド高校との姉妹校提携調印
- 20. 10. 25 NHK「新日本紀行ふたたび」にて全国放送
- 21. 2. 16 北海道教育実践表彰を受賞
- 21. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 (H21・22年度)
- 21. 6. 24 第6回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 21. 8. 1 情報機器42台導入
- 21. 8. 10 第30回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 21. 9. 26 国際理解教育 (生徒3名派遣)
- 21. 11. 1 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 21. 11. 2 音威子府パイパス着工記念碑除幕式
- 22. 3. 31 女子寮増築落成
- 22. 5. 4 国際理解教育 (生徒2名、教員1名派遣)
- 22. 6. 25 第7回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 22. 8. 9 第31回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 22. 11. 18 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 23. 6. 24 第8回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 23. 8. 8 第32回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 23. 9. 11 国際理解教育 (生徒3名派遣)
- 23. 10. 20 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 24. 4. 28 木の手づくり展東京開催 [東京]
- 24. 5. 7 国際理解教育 (生徒3名、教員1名派遣)
- 24. 6. 8 第9回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 24. 8. 13 第33回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 24. 11. 21 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 25. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 [工芸 I]
- 25. 6. 7 第10回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 25. 8. 5 第34回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 25. 9. 16 国際理解教育 (生徒3名、教員1名派遣)
- 25. 10. 20 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 25. 10. 22 高大連携事業調印式 (東海大学国際文化学部)
- 26. 3. 28 女子寮増築落成
- 26. 4. 28 寄宿舎 (チセネシリ寮) 女子寮増築落成
- 26. 6. 16 第11回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 26. 8. 4 第35回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 26. 9. 15 国際理解教育 (生徒3名、教員2名派遣)
- 26. 11. 9 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 27. 2. 10 第64回全国高等学校スキー大会 総合優勝 [秋田]

# 北海道教育の基本理念

**自立** 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

**共生** 心豊かに、ともに支えあい、ふるさとに誇りを持つ人を育む

## 【基本目標】

### 基本目標 1 社会で生きる実践的な力の育成

- 生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進
- 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

### 基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成

- 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
- 心身の健やかな成長を促す教育の推進

### 基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

- 魅力ある学校づくりの推進
- 教職員に対する信頼性の向上

### 基本目標 4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

- 家庭の教育力の向上への支援の充実
- 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

### 基本目標 5 北海道らしい生涯学習の実現

- 学んだ成果を生かす生涯学習の推進
- 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進
- 文化・芸術活動の推進
- 健康づくり・スポーツ活動の推進

# 上川教育推進プラン

## 【推進のテーマ】

学び続け かかわり 高め合う 上川教育の躍動  
(着実な実践・実績の検証・成果の実感)

## 【生きる力を育む教育の推進】

- I 社会で生きる実践的な力の育成
  - 1 確かな学力を育む教育の推進
  - 2 新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進
- II 豊かな心と健やかな体の育成
  - 1 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
  - 2 心身の健やかな成長を促す教育の推進

## 【学校・家庭・地域の教育力向上を図る取り組みの推進】

- III 信頼される学校づくりの推進
  - 1 教職員に対する信頼性向上
  - 2 魅力ある学校づくりの推進
- IV 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進
  - 1 家庭の教育力の向上
  - 2 地域の教育力の向上

## 【上川らしい生涯学習社会の実現】

- V 北海道らしい生涯学習社会の実現
  - 1 生涯各期における学習活動の推進
  - 2 社会教育推進のための基盤整備
  - 3 芸術文化活動の推進

# 音威子府村教育目標

## ○たくましい身体と意志を育てよう

開拓者精神を受け継ぎ、ねばり強くやり抜く強い意志をもち、進んで健康と体力増進につとめ、明るく豊かな村づくりにはげむ村民の育成をめざす

## ○望ましい個性と豊かな人間性を育てよう

自ら学び、自主的、主体的に社会参加を行い、正しい判断のできる心豊かな村民の育成をめざす

## ○規律を守り勤労を愛する心を育てよう

きまりを守り、他人をいたわる心を育てるとともに、勤労の喜びを見出し、生きがいのある生活をつくりだす村民の育成をめざす

## ○自然を愛する心を育てよう

天塩川の恩恵に感謝し、森、川にかこまれた自然を愛する心を育て、住みよいまちづくりにはげむ村民の育成をめざす

## ○文化を高め郷土を愛する心を育てよう

先人の文化的遺産を受け継ぎ、芸術、文化を育み高める心を育て、地域から生まれる生活文化を向上させる村民の育成をめざす

# 校 訓

HEART  
AND  
CREATION  
創造 自主 飛翔

## 学校教育目標

造形体験を重ね、  
創造力を育成する

- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
- 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す
- 自然に親しみ、情操を豊かにする

### 1 重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

### 2 経営方針

- (1) 学校教育目標・重点目標を達成するための具体的方策を推進する。
- (2) 生徒一人ひとりの創造力を育てる造形教育の質の向上を図る。
- (3) 学校や寄宿舎での自主的活動を推進し、豊かな社会性を育てる。
- (4) 教職員の計画的な研修活動を推進する。

### 3 教育課程編成の方針

- (1) 工芸科としての特色ある教育課程を編成する。
- (2) 情操豊かな人格の育成を目指し、教科と特別活動等の調和のとれた教育課程を編成する。

### 4 指導上の重点事項

学習指導	(1) 生徒一人ひとりの実態に即した学習指導により、学力を向上させる。 (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法・評価方法の工夫により、自ら学ぶ意欲を喚起し能力を伸ばす。 (3) 高大連携教育や国際理解教育の推進を図り、美術工芸教育・普通科教育を深化させる。 (4) 情報教育や図書教育の充実を図り、豊かな人間性を育成する。
生徒指導	(1) 全教職員の共通理解と実践により、基本的な生活習慣の定着を推進する。 (2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成する。 (3) 教育相談活動を充実し、多面的な生徒理解を深め、問題の早期発見・対応を実践する。
進路指導	(1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて努力する態度を育成する。 (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。 (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。
健康・安全指導	(1) 保健教育活動を充実し、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命を大切に主体的に心身を鍛える生徒を育成する。 (2) 校内外の清掃美化や施設の保全を図り、快適な教育環境づくりを推進する。 (3) 全教育活動をとおして安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導する。



# 平成27年度 学校経営方針

生徒・保護者・村民・教職員がともに夢を語り、感動があふれる学校を創造する

## 夢を語り感動があふれる学校づくり

- 1 創作活動をとおして学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、伸ばし、確かな学力を育成する。
- 2 他を思い理解し、共に学び感動があふれる学校生活をとおして、豊かな人間性を育成する。
- 3 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおした質の高い教育活動を推進する。
- 4 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、地域に根差し開かれた学校づくりを推進する。

## 全道唯一の工芸科として教育活動の充実を図る

- 1 創造力を育成する質の高い美術工芸作品の制作
- 2 学ぶ意欲を高め個性や能力を伸ばす工芸・美術コース
- 3 他を思いやる心を育てる学校教育活動と寮生会活動
- 4 地域の自然や人々、木と触れあうことによる心豊かな人づくり
- 5 一人ひとりが主人公として活躍し自己表現力を育む教育活動
- 6 コミュニケーション能力や社会性を伸長する教育活動

## 創造力を育成し人間力を高める

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 魅力ある教育活動の推進<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 創造力を育成する教育活動の実践</li><li>(2) 工芸と美術のコース選択による個性の伸長</li><li>(3) 高大連携や国際交流による教育内容の充実</li><li>(4) 21世紀型能力を育てる教育課程の研究</li></ol></li><li>2 個性を伸ばす学習指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自ら学ぶ意欲を高める学習指導</li><li>(2) 質の高い表現学習をとおした創造力の育成</li><li>(3) 基礎的基本的な学力の定着を図る個に応じた指導</li></ol></li><li>3 心に響く生徒指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自らを律する態度を育成する生徒指導</li><li>(2) 教育相談による生徒理解の推進</li><li>(3) 学校生活と寮生活の両輪による望ましい人間関係を構築する能力の育成</li><li>(4) 生徒会と寮生会の活動による自主性の育成</li><li>(5) 特別活動や部活動等による社会性の育成</li><li>(6) 生命を尊重し健やかな心身を育成する健康安全指導</li></ol></li><li>4 未来を拓く進路指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 生徒の能力や適性に応じた進路指導</li><li>(2) 自己理解や自己実現を達成する力の育成</li><li>(3) 計画的系統的なキャリア教育の推進</li></ol></li><li>5 学校情報の積極的な発信<ol style="list-style-type: none"><li>(1) Webページ等の充実による情報発信力の向上</li><li>(2) 各種「たより」等による学校理解の推進</li><li>(3) 学校案内、ポスター等の充実</li></ol></li></ol> | <ol style="list-style-type: none"><li>6 学びの成果を発信する生徒作品の公開<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「村の美術館」として校内生徒作品を公開</li><li>(2) 「木の手づくり展」の充実発展</li><li>(3) 村施設や村民文化祭等で生徒作品を展示</li></ol></li><li>7 地域と一体となった教育活動<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「植樹祭」「村民運動会」「文化祭」等への参加</li><li>(2) 授業や学校行事等の教育活動を公開し地域の教育力を活用</li><li>(3) 小中高の連携した学びの充実</li><li>(4) 「グリーンおといねっふ」「エコミュージアム」等でのボランティア活動</li><li>(5) 北海道大学中川研究林との「森林探訪」の実施</li><li>(6) 村内学校間での連携事業の工夫改善</li><li>(7) 村内各スキー大会への支援や地域行事への参加</li></ol></li><li>8 教えるプロとしての教師力向上<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 磨きあい高めあい支えあう教職員集団</li><li>(2) 校内研修会や公開授業による資質能力の向上</li><li>(4) 校外各種研修会等の参加と情報の還元、共有</li><li>(5) 村内教育推進協議会による研修の充実</li><li>(6) 高大連携をとおした大学教員との専門的研修</li><li>(7) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団</li><li>(8) 学校評価、授業評価、学校評議員会を踏まえた課題改善</li><li>(9) 服務規律保持、危機管理の高揚に向けた研修</li></ol></li><li>9 特色ある教育活動の充実発展<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 東海大学との高大連携教育</li><li>(2) スウェーデンとの国際理解教育</li><li>(3) 全道唯一の工芸科による「人づくり」</li></ol></li></ol> |
|--|---|

# 平成27年度 学校経営シラバス

<b>学校教育目標</b> 造形体験を重ね、創造力を育成する 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す 自然に親しみ、情操を豊かにする	<b>校 訓</b> <b>HEART AND CREATION</b> 創造 自主 飛翔
---	---

<b>めざす学校像</b>	<b>めざす生徒像</b>
1 生徒、保護者、地域、教職員に夢と感動があふれる学校 2 一人ひとりの可能性を限りなく伸ばし、進路が実現できる学校 3 地域に信頼され特性を活かしながら、確かな学力や豊かな人間性を育む学校	1 目標を持って、主体的に学び努力する生徒 2 夢を創造し、未来に向かって前進する生徒 3 生命や自然を愛し、豊かな心を持った生徒

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全道唯一の工芸科として、教育課程の充実・発展</li> <li>○学ぶ意欲と基礎基本を重視した確かな学力の向上</li> <li>○個に応じた指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味関心を喚起し、学ぶ意欲を高める授業内容の工夫改善</li> <li>○基礎的基本的な学力の定着、個に応じた指導、発展的学習の充実、創造力を育成する美術工芸教育の質的向上</li> <li>○地域の特性を活かした魅力ある教育活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が意欲的に学んでいるか</li> <li>○校内外の研修、授業評価等をとおして授業内容の改善が図られたか</li> <li>○きめ細かい個に応じた指導が効果的に実践されたか</li> <li>○基礎的基本的な学力の定着が図れたか、美術工芸作品の制作をとおして確かな学力が伸長したか</li> <li>○地域と一体になって教育活動が進められたか</li> </ul>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成</li> <li>○社会性や規範意識に基づく、判断力、行動力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション能力、社会性の育成に重点を置いた基本的な生活習慣の確立</li> <li>○自らを律し、他を思い理解する態度を養う指導</li> <li>○生徒主体の生徒会活動等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校生活、寮生活で望ましい人間関係が構築できているか</li> <li>○社会性が身に付き規律ある集団生活が行われたか</li> <li>○生徒が積極的に参加する生徒会活動等であったか</li> </ul>
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己理解と勤労観・職業観の深化</li> <li>○自らの在り方生き方を求め自己実現を達成する力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育の推進による進路実現の充実</li> <li>○早期からの計画的な進路指導</li> <li>○資格取得の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的、職業的自立のための進路が決定したか</li> <li>○1学年からの計画的系統的な進路指導が行われたか</li> <li>○生徒が積極的に資格取得者に挑戦したか</li> </ul>
	健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の健康や安全に対する意識の高揚</li> <li>○環境美化やボランティア活動に積極的に参加する態度の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解の深化と教育相談の充実</li> <li>○安全教育の取組の徹底</li> <li>○環境美化意識の高揚と清掃活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりに目を向け適切な教育相談ができたか</li> <li>○安全教育を効果的に実践し、生徒の危機管理意識が高まったか</li> <li>○生徒が積極的に校舎内外の美化・清掃活動に取り組んだか</li> </ul>
学 校 経 営	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動の積極的発信と地域連携の充実</li> <li>○学校評価等を活用した教育活動の不断の改善</li> <li>○教職員の服務規律の保持、倫理観の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Web ページや学校だより等の充実と学校理解の推進</li> <li>○学校評価等による課題の明確化とPDCA サイクルによる改善</li> <li>○保護者、地域、学校の連携の強化</li> <li>○教職員の教育公務員としての自覚の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Web ページ等で積極的に教育活動の情報発信を行い、保護者や地域、中学生等の学校理解が深化したか</li> <li>○学校評価や学校評議員会が学校改善に生かされたか</li> <li>○保護者や地域等との連携が強化したか</li> <li>○教育公務員としての社会的責任を教職員が自覚したか</li> </ul>
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校課題の明確化・共有化</li> <li>○課題解決に向けた組織的な協働体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告・連絡・相談体制の機能徹底</li> <li>○PDCA サイクルの効果的な活用</li> <li>○危機管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動全般に渡り教職員が連携したか</li> <li>○前例踏襲に陥らずに各取組が改善に向かったか</li> <li>○危機管理マニュアルが整備されたか</li> </ul>
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門性と資質能力の向上</li> <li>○教職員の健康増進</li> <li>○共に学び合う教職員集団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力、生徒指導力の向上と専門性の深化</li> <li>○超過勤務の縮減と健康管理体制の確立</li> <li>○校外研修の伝達、校内研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善や実践力が向上したか、教科の専門的スキルが高まったか</li> <li>○個々の教職員が業務の効率化を図ったか</li> <li>○教職員間がコミュニケーションを図り、個々の教職員の協働意識が向上したか</li> </ul>

# 教育課程表

## 1 平成27年度 入学者教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				3	3
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	2	2	2		
	数学A	2				2	2
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	2				
	工芸I	2	2				
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2		
	英語表現I	2				3	3
家庭	家庭基礎	2	2				
情報	社会と情報	2		2	2		
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6			1		1
	絵画	2~4			3		
芸術	美術研究	○ 4					4
工芸	図法・製図	○ 5	1	2	2	2	2
	木材理論	○ 1	1				
	木工制作I	○ 3	3				
	木工制作II	○ 6		6	6		
	インテリア史	○ 1		1	1		
	工芸制作	○ 4		4			
	課題研究	○ 6				6	6
	工芸研究	○ 5				5	
小計			28	28	28	28	28
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

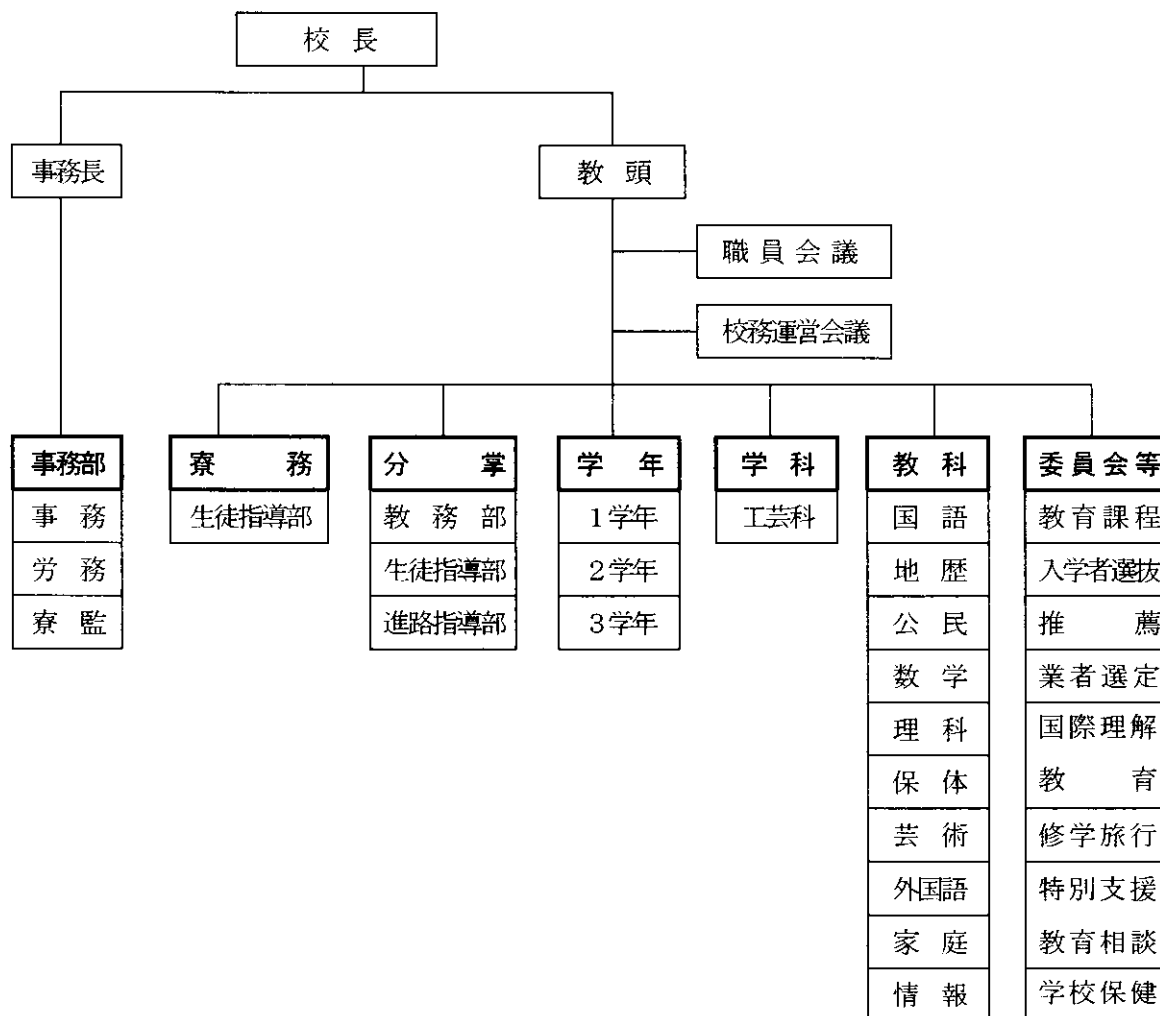
## 2 平成27年度 学年別教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				3	3
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	2	2	2		
	数学A	2				2	2
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	2				
	工芸I	2	2				
英語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2		
	英語表現I	2				3	3
家庭	家庭基礎	2	2				
情報	社会と情報	2		2	2		
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6			1		1
	絵画	2~4			3		
芸術	美術研究	○ 4					4
工芸	図法・製図	○ 5	1	2	2	2	2
	木材理論	○ 1	1				
	木工制作I	○ 3	3				
	木工制作II	○ 6		6	6		
	インテリア史	○ 1		1	1		
	工芸制作	○ 4		4			
	課題研究	○ 6				6	6
	工芸研究	○ 5				5	
小計			28	28	28	28	28
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

# 組織及び構成

## 1 組織機構図



## 2 各種委員会の役割

委員会名	役割	主管
教育課程	教育課程の点検、改善を審議	教務
入学者選抜	入学者選抜における原案作成や準備業務	教務
推薦	就職・進学に関して推薦要件の確認、選定	進路指導
業者選定	公正・適正な業者見積の選定	事務
寮と学校の情報交換	学校と寮職員との生徒情報の交換	生徒指導
国際理解教育	国際理解教育の方針、派遣選考、受入対応、諸準備	教務
修学旅行	宿泊研修及び見学旅行の計画、役割分担等	教務
特別支援・教育相談	発達障害や精神面での支援が必要な生徒への対応検討	生徒指導
学校保健	心身の健康を守り、安全・安心の確保づくりの推進	生徒指導
学校情報	校内情報施設、設備、備品、システムの管理と運用	教務
いじめ対策	学校における健康課題の研究協議、健康づくりの推進	生徒指導

### 3 教職員の構成

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	事務生	公務補	寮監	寮監補	寄宿舎指導員	寮職員	賄管理人	計
1	1	12	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	25

### 4 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌	発令年月日
校長	小幡圭二			H26.4.1
教頭	西後勝美			H27.4.1
教諭	棚橋栄治	保健体育	教務部・1学年付・舎監	H21.4.1
〃	大木民郎	芸術(舞・芸)	生徒指導部長・2学年付・舎監	H23.4.1
〃	福澤等	芸術(舞・芸)	進路指導部長・3学年付・舎監	H23.4.1
〃	野村幸伸	芸術(舞・芸)	進路指導部・工芸科長・3学年付・舎監	H10.4.1
〃	吉田香織	外国語	進路指導部・3学年正担任・舎監	H23.4.1
〃	池田教朗	数学・情報	教務部・1学年正担任・舎監	H25.4.1
〃	林一浩	理科・家庭	教務部・2学年副担任・舎監	H27.4.1
〃	川添龍一	芸術(舞・芸)	教務部長・2学年付・舎監	H24.4.1
〃	川崎さつき	芸術(舞・芸)	教務部・3学年副担任・舎監	H27.4.1
〃	碓矢真由	国語	教務部・2学年正担任・舎監	H25.4.1
〃	土井佑弥	地歴・公民	生徒指導部・3学年付・副舎監長	H27.4.1
〃	押見栞奈	芸術(舞・芸)	生徒指導部・1学年副担任・舎監長	H26.4.1
養護教諭	南波李佳		生徒指導部・1学年付・副舎監長	H25.4.1
実習助手	澤口将達		教務部・1学年付	H27.6.1
A L T	マゼリン・メリー			H26.9.1
事務長	山崎彰俊			H27.4.1
事務生	横山康子			H25.4.1
公務補	辻本博美			H23.4.1
寮監	永井満			H23.4.1
寮監	北原貴志			H26.4.1
寮監補	今井良一			H18.4.1
寄宿舎指導員	執行伸枝			H18.4.1
寮職員	神野隆敏			H23.11.1
賄管理人	池田嘉夫			S57.4.1
校医	三好義範			H25.4.1
歯科医	松尾徹也			H24.9.1

# 生徒状況

## 1 生徒出身地別人数 (平成27年4月9日現在)

	1年		2年		3年		管内名	管内	
	男	女	男	女	男	女		男	女
札幌市	4	5	2	4	5	4	石狩	12	19
当別町		1							
江別市		1		1		2			
千歳市						1			
北広島市									
恵庭市			1				渡島		1
函館市						1	後志		2
赤井川村				1			檜山	1	
余市町				1					
せたな町			1				空知	3	2
岩見沢市		2							
長沼町			1		1				
沼田町					1				
旭川市	5	1		4	3	3	上川	16	15
鷹栖町			1						
美瑛町	1		1						
中富良野町			1						
上富良野町		2							
東川町		1							
東神楽町				1					
剣淵町					1				
愛別町	1								
美深町			1						
士別市				1					
名寄市				1	1	1			
天塩町					1	1	留萌	1	1
稚内市		1					宗谷	1	6
猿払村						1			
中頓別町	1					1			
幌延町				1					
枝幸町		1		1			オホーツク	2	2
置戸町						1			
湧別町			1						
雄武町			1						
斜里町				1			胆振		1
苫小牧市				1					
標茶町		1					十勝		5
池田町		1		1					
清水町				1					
浦河町				1					
釧路市				1		1	釧路		3
浜中町						1			
根室市						1	根室		1
山形県			1				道外	10	8
新潟県			1						
長野県						1			
群馬県			1						
埼玉県					1				
東京都	1	2		1	2				
神奈川県			1						
京都府	1								
大阪府		1							
愛知県		1							
兵庫県		1							
山口県			1						
大分県		1							
合計	14	23	16	23	16	20		112	

2 生徒数（平成27年4月9日現在）

	1年	2年	3年	合計
男子	14	16	16	46
女子	23	23	20	66
合計	37	39	36	112

## 進路状況

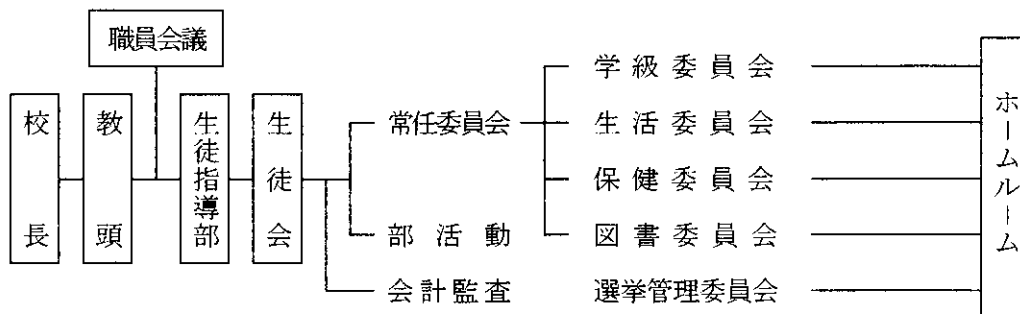
（平成17年度卒業生以降）

年 度		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
進 学	四年制大学	6	10	7	10	8	11	17	14	14	13
	短期大学	2	3	3	0	2	2	2	2	0	1
	各種学校	12	7	9	10	17	10	9	12	14	14
	その他	0	0	0	0	2	2	2	4	0	0
	未定										1
	(小計)	(20)	(20)	(29)	(20)	(29)	(25)	(30)	(32)	(28)	(29)
就 職	木材・工芸関係	0	3	3	1	2	2	3	0	1	2
	販売・製造等	3	1	0	1	2	4	2	3	0	0
	公務員（含自衛隊）	1	0	0	1	0	1	1	2	2	3
	サービス・飲食店関係	4	1	0	1	0	2	0	0	3	1
	福祉施設関係	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0
	運輸業	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	その他	1	3	0	1	2	1	1	1	0	1
	未定	0	1	2	5	0	0	2	1	2	1
	(小計)	(11)	(9)	(5)	(11)	(6)	(11)	(10)	(7)	(10)	(8)
合計	31	29	24	31	35	36	40	39	38	37	

## 卒業生総数

男子1,023名    女子549名    合計1,572名（平成27年3月1日現在）

## 生徒会機構





# 部活動組織

	アパンスキー	カスケードスキー	バドミントン	軽音楽	美術	工芸	家政	文芸	計
男	3	7	4	7	12	9	1	3	46
女	5	3	1	8	23	11	12	3	66
計	8	10	5	15	35	20	13	6	112

## 日課表

職員出勤	～ 8:00
職員打合せ	8:00～ 8:15
S H R	8:15～ 8:30
第1校時	8:35～ 9:25
第2校時	9:35～10:25
第3校時	10:35～11:25
第4校時	11:35～12:25
昼休み	12:25～13:10
第5校時	13:10～14:00
第6校時	14:10～15:00
S H R	15:00～15:10
清掃活動	15:10～15:30
部活動	15:30～17:30
生徒下校	～17:40
職員退勤	16:30～

## 各種団体

### 1 父母と教師の会役員

会長：志村 正美  
 副会長：渡邊 智子・大田 喜美紀・黒川 浩・西後 勝美  
 計監：山崎 彰俊  
 庶務：棚橋 栄  
 査問：黒川 浩  
 顧問：大竹 政美・小幡 圭二

### 2 体育文化振興会役員

会長：川村 隆子  
 副会長：渡邊 智子・大田 喜美紀・黒川 浩・西後 勝美  
 計監：山崎 彰俊  
 庶務：棚橋 栄  
 査問：黒川 浩  
 理事：大河上 實・小幡 圭二  
 大竹 政美・石田 康幸・玉田 敬・長野 武一・西山 容子

### 3 同窓会役員

会長：大竹 政美  
 副会長：石田 康幸・玉田 敬  
 書記：長野 武容  
 計監：西河内 敬  
 査問：中澤 将達  
 校務局長：石田 康幸  
 学連連絡員：福井 勝人・高橋 佳子・丹 義光・池端 友博・布施 孝敏  
 田良川 小百合・井川 大伍・木健太・舟山 宏樹・安藤 倉大  
 川子 晴香・栗原 健志・尚記 尚記・紺野 薫・友重 圭司・松倉 奈美  
 千葉 将壽・高澤 高志・皓 皓・森 慶 薫・古西 麻里・鈴木 伊藤 聖一  
 岡照 優奈・佐々木 謙也・足立 悠 薫・石川 彩水・川村 藤村 泰太

# 各分掌の経営計画

## 教 務 部

### 1 活動目標

校務の円滑な運営を行うとともに、学校業務のスリム・健全化を推進する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 生徒の学力向上
  - ・ 高大連携、国際理解教育、学校間連携、地域交流等を効果的に活用した学びの場の設定
  - ・ 生きる力を育てる、本校独自の系統的カリキュラムの構築
  - ・ 一人ひとりに即した教育の提供（TTの工夫、言語活動の充実、指導と評価の一体化の推進）
- (2) 教務的・総務的業務の円滑な遂行、及び校務のスリム化
  - ・ 校務運営システムを活用した校務・教務の推進
  - ・ 各種委員会及び分掌業務等の整理と推進
- (3) 実態に即した、戦略的な生徒募集の展開
  - ・ 「生徒の育ち」、「本校ならではの学び」を紹介
  - ・ Web ページ、ブログ、パンフレット等での本校の学びの見える化
  - ・ 木の手づくり展等における「作品展示」から「学びの展示」へ

### 3 課題解決の方策

- (1) 諸活動の効果検証活動を行う。
  - ・ 「学びの系統性」を意識し、目標を明確化して実施する。
  - ・ 効果的な配列を考慮し、行事等の整理推進
  - ・ 観点別評価を意識した教育活動の展開、及び指導と評価の一体化によるマネジメントサイクルの運用
- (2) 校務運営システムの稼働（人員の整備）
  - ・ 校内研修会の実施による校内の問題点の共有化
  - ・ 教務部から改革の実行
- (3) 取り組みの検証作業
  - ・ 校内研修会による生徒募集の在り方提示と方針の共有化
  - ・ 学校評議員等からの助言をもとにした改善策の推進
  - ・ 機動性を重視した取り組み

### 4 分掌構成・業務分担・各種委員会

委 員 会 名	教務主担当者			総務主担当者			主 管
	主任 川添	碓矢	川崎	棚橋	林	池田	
校務運営会議	○						教頭
教育課程委員会	◎	○					教務部（教務）
推薦委員会	○						進路指導部
国際理解教育委員会			◎			●	教務部（教務）
修学旅行委員会				◎			教務部（教務）
教育相談委員会							生徒指導部
入学者選抜委員会	◎		○				教務部（教務）
業者選定委員会	○						事務長(校務運営会議)
特別支援教育委員会				●			生徒指導部
学校保健委員会				●			生徒指導部
学校情報委員会					◎	●	補助 教務部（総務）
いじめ対策委員会	○						教頭

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員 ●分掌以外で割り当たった委員

## 5 業務一覧表

※太字が主管・主担当

業 務		担当者	主な業務	他分掌等との関わり
教務	総括庶務	主任 主任・他 教頭・主任 主任 主任 主任 主任・川崎 主任 主任	作成指示、点検 転出入、証明書発行等 規程の運用、細則整備	工芸科との連動  ○教育課程委(主任+碓矢) 工芸科との連動 校務運営会議との連動 ○推薦委・業者選定委・ いじめ対策委・学校評 議委員会(主任)
	学習指導庶務	碓矢・主任 碓矢・主任 川崎・主任 碓矢・川崎 碓矢・川崎 主任・碓矢 碓矢・川崎 碓矢・川崎	研修・学力向上対策総括 (キャリア計画を元に)  考査出題内容研修会  (キャリア計画を元に)  校務支援システムを使用	※前期中間考査終了後
	時間割	主任・川崎 川崎・碓矢 川崎・碓矢	基本時間割 週時間割・時数統計	
	研修	川崎・主任 主任・川崎 主任・棚橋	校内外研修・初任者研	※研究指定校事業等
	入学者選抜	推薦入試・一般入試・二次募集	主任・川崎・碓矢・ほか	○入学者選抜委(主任川崎)
総務	庶務	<b>主任</b> 主任・棚橋 棚橋・主任 棚橋・林 棚橋・主任	<b>校務整理・改善</b> 議題整理  入学・卒業式、始終業式 職員室机ロッカーの配置	○校務運営会議 ○校務運営会議
	生徒募集	碓矢・主任 碓矢・主任 林・池田・主任	ガイダンス資料、要項 HP、ブログ、パンフ更 新	工芸科との連動 工芸科との連動 ※学校情報委員会
	特色ある取組	碓矢・主任 川崎・棚橋・主任 碓矢・主任	デザインスクール 選考・派遣・受入 宿泊研修・見学旅行	工芸科との連動 ○国際理解教育委(川崎) ○修学旅行委(棚橋)
	渉外・PTA	棚橋・池田 棚橋・池田 林・池田 棚橋・主任 棚橋・主任	連携事業の調整・古紙回収等	生徒指導部との連動  工芸科と調整し進める
	校務支援システム 校内情報管理	林・主任 林・池田 池田・林 林・澤口	支援システムの基本設定  書籍購入、蔵書管理 とコメントスキヤキ係	○学校情報委(林) 生徒指導部(図書委員会)

## 6 年間計画

月	共通の会議・行事等	教務的業務	総務的業務
前期	4 年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 →「生徒募集指針」決定 →教育課程委員会(方針)	入学者選抜結果状況報告 基本時間割作成、シラバス原稿メ LHR計画、道徳教育計画 特別活動・総合的な学習の時間計画 新入生オリエンテーション ガイダンス、学力実態調査 CD表・学校目標提出 シラバス作成・教育計画作成	前期始業式、入寮式 <b>入学式</b> 、PTA・体文総会 見学旅行結団式 生徒募集年間計画・実施要項 年間行事計画確定 見学旅行 全校集会(GW前) 発送文書とりまとめ(地区懇文書)
	5 校務運営会議・職員会議 第1回入学者選抜委員会 教育課程委員会	学校要覧・教育計画発行 中学校訪問実施要項 (教育実習～6月)	全校集会(GW明け) 生徒募集資料準備 地区別懇談会準備
	6 校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 教育課程委員会	中学校訪問準備 コース選択ガイダンス <b>前期中間考査</b>	宿泊研修 <b>地区別懇談会</b> <b>木の手づくり展(旭川)</b>

		教務主導：考査出題内容研修会（5教科） 授業改善研修会実施（校内研修）	生徒募集パンフレット発行 学校祭宿泊とりまとめ開始
	7 校務運営会議・職員会議	単票提出、一覧表提出 成績会議資料作成 成績会議 中学校訪問準備 教科書採択	クリーンおといねっぷ 村民運動会 木の手づくり展準備 <b>学校祭保護者懇親会</b> 全校集会（夏休み前） 発送文書とりまとめ
	8 校務運営会議・職員会議	中学校訪問（札幌・札幌郊外） コース選択希望調査	学校案内資料送付準備 一日体験入学実施要項 <b>木の手づくり（札幌）</b> 全校集会（夏休み明け） 占紙回収
	9 校務運営会議・職員会議 中間反省会議（分掌打合） 中間反省会議	中学校訪問 <b>前期末考査</b> 単票提出、一覧表提出 成績会議資料作成、成績会議 成績不振者・欠席超過者指導	<b>高大連携教育（イザイスク）</b> 学校案内送付 一日体験入学準備 地区別懇談会実施要項
後 期	10 校務運営会議・職員会議	入学者選抜要項作成	<b>国際理解教育生徒派遣</b> 発送文書とりまとめ（地区懇文書） 全校集会（前期終業式・後期始業式） 地区別懇談会準備 <b>一日体験入学</b>
	11 学校教育指導（2次） 校務運営会議・職員会議	（教育実習） <b>後期中間考査</b> 第2回入学者選抜委員会	<b>地区別懇談会</b> <b>国際理解教育帰国報告会</b>
	12 校務運営会議・職員会議	単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成 入学者選抜業務 <b>成績会議</b> 欠時超過者補充 準教科書・副教材採択	全校集会（冬休み前） 発送文書とりまとめ
	1 校務運営会議・職員会議	入学者選抜業務 <b>学年末考査（3学年）</b>	卒業式実施要項 全校集会（冬休み明け） 年間行事計画作成準備
	2 校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 <b>入学者選抜（推薦）</b>	単票提出、一覧表提出（3学年） 成績会議資料作成、 <b>卒業認定会議</b> 入学者選抜業務 <b>学年末考査（1・2学年）</b>	卒業式案内発送（3学年） 卒業式準備、卒業式予行 PTA文体役員会 全校集会
	3 校務運営会議・職員会議 <b>入学者選抜（一般）</b> <b>入学者選抜（二次募集）</b>	入学者選抜業務 単票提出、一覧表提出 成績会議資料作成 <b>進級認定会議</b> 成績不振者・欠時超過者指導 諸表簿・指導要録等点検（3年） 学年末時数統計処理 A・B表提出、指導要録点検（1・2年）	<b>卒業区書授与式</b> 高大連携教育 新年度年間行事計画 入学式実施要項 修了式 発送文書とりまとめ（1・2年）

## 7 達成目標（評価の視点）

### （1）教務的側面

- ・ 新カリキュラムを構築できたか
- ・ 学校教育における行事の位置づけを明確にしたか
- ・ 反省会議を踏まえた改善が図れたか

### （2）総務的側面

- ・ 校務支援システムを稼働させたか
- ・ 教職員で問題を共有し、校務組織の改革を進めたか
- ・ 実態に即した募集活動を行うことが出来たか

## 生徒指導部

### 1 活動目標

- (1) 生徒の安全と基本的生活習慣の定着を図り、健康な学校生活を育成する。
- (2) 主体的で自律的な生徒活動、寮生活を育成する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 安全で健全な生活の育成、基本的生活習慣の定着。
  - ・ 規範意識と向上心、社会人の基礎力としての社会性の育成。
- (2) 多面的な生徒理解を深める。
  - ・ カウンセリング機能、生徒対話の強化。
  - ・ 校内外での生活、学習、心身の健康状態の理解と、教職員間の情報共有。
- (3) 主体的、自律的な生徒活動の保証。
  - ・ 主体性、責任、自律を目指した生徒会活動、寮生会活動の育成。
  - ・ 計画と達成像の明確化。

### 3 課題解決の方策

- (1) 各レベルの規則、指導方針、目指す姿を明示し、生徒間に理解を進める。
  - ・ 集団生活規範と個人の希望を峻別して意識させる。
- (2) 業務整理に取り組み、生徒対話を深める。
  - ・ さまざまな場面での生徒観察、情報、指導計画を発信し共有する。
- (3) 逐次分掌部会をもち情報共有と意見交換、改善案の検討を進める。
  - ・ 諸活動それぞれの活動計画を把握し、内容の相互理解を進める。

### 4 分掌構成・業務分担・各種委員会

係	業務内容	大木	南波	押見	土井
庶務	年間計画と個別計画の作成、校外関係機関との連携、生徒指導心得の作成、オリエンテーション	◎			
生活指導	校内外における基本的な生活態度・週刊の育成、生徒心得の指導と検討、非行事故の未然防止指導、巡視指導の計画	◎	○	○	○
	薬物乱用防止・交通安全・防犯指導（講座）の企画	◎			○
	ネットモラルおよび携帯電話マナー教室の企画				
保健環境	学校保健安全指導の計画作成、校内外の清掃と清掃計画の指導		◎	○	
特別支援	音威子府村教育推進協議会特別支援部会への参加		◎		
生徒会指導	生徒会執行部指導、部活動の企画推進指導、生徒会活動の企画実施指導	○			◎
	保健委員会 ； 保健委員会の指導		◎		○
	生活委員会 ； 生活委員会の指導	◎			○
	図書委員会 ； 図書委員会の指導		吉田先生へ依頼		○
寮務	寮にかかわる事項※別項		○	◎	○
特別	入学者選抜委員会		○		
	国際理解教育委員会			○	
	修学旅行委員会	○			
	特別支援教育相談委員会	○	☆	○	
	学校情報委員会				○

## 5 年間計画

	月	共通の会議・行事等	生活・特別支援	生徒会指導	保健環境	寮務
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検/ オリエンテーシ ョン/校内巡視開 始	対面式	定期健康診断/ 始業前大掃除/ 見学旅行前健康相 談(3年)	入寮式/オリエン テーション
	5	校務運営会議・職員会議 第1回入学選抜委員会 教育課程委員会	身だしなみ点検/ スクールカウ ンセラー来校(以 後毎月)	生徒総会/高体連 壮行会	定期健康診断/ 宿泊研修前健康相 談(1年)	春季休業/新入生 歓迎会
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 教育課程委員会	夏服/クリーンお といねっぶ①	学校祭準備/(生 徒総会)	歯の衛生週間	3年生寮生レク/ 2年生寮生レク
	7	校務運営会議・職員会議	交通安全・防犯 ・薬物乱用防止 講話	学校祭	クリーンおとい ねっぶ/休業前大 掃除	第1回匠号バス ツアー/夏季休業
	8	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検/ クリーンおとい ねっぶ②			夏季休業(帰寮)
	9	校務運営会議・職員会議 中間反省会議(分掌打合) 中間反省会議		役員選挙	デザインスクール 前健康相談(3年)/ 競歩前健康相談	1年生寮生レク/ 避難訓練
後期	10	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検 (冬服期間)		目の愛護デー	秋季休業/ 留学生歓迎式
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議				寮生総会/第2回 匠号バスツアー/ 寮祭
	12	校務運営会議・職員会議	自動車免許取得 のガイドライン	体育祭	休業前大掃除/工芸 棟大掃除/赤ちゃん とのふれあい体験 学習(3年)	寮生会役員選挙/ 冬季休業
	1	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検	次年度学校祭準 備	性教育講話(2年)	冬季休業(帰寮) /3年生を送る会
	2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 <b>入学者選抜(推薦)</b>	スクールカウ ンセラー来校③		入選前大掃除/卒業 式前大掃除	家庭学習(3年 生帰省)
	3	校務運営会議・職員会議 <b>入学者選抜(一般)</b> <b>入学者選抜(二次募集)</b>	身だしなみ点検	卒業生教室装飾	年度末大掃除	学年末休業(帰 省)

## 6 達成目標(評価の視点)

- (1) 生活・特別支援
  - ・ 基本的な生活習慣の改善ができたか。重点：忘れ物、朝食、ネットトラブル。
  - ・ 教員間の情報と指導意識の共有ができたか。
- (2) 生徒会指導
  - ・ 学校祭計画の早期検討、生徒会執行部役員の役割の検討ができたか。
  - ・ 会計の明確化ができたか。
- (3) 保健・環境
  - ・ 生徒が主体的な健康管理、安全に努める姿勢を育成できたか。
  - ・ 生徒が主体的に清掃に取り組み、環境衛生の意識を向上できたか。
- (4) 寮務 別紙

## 7 各業務の具体

- (1) 部活動
  - ・ 原則的に1年の通年加入。3年間を通じて活動できるのが望ましい。
  - ・ 変更は原則的に年度始めに行い、それ以外は高体連や楽器の変わり目などの節目に、関係各所相談の上で行う。
  - ・ 活動時刻は15:30~17:30とし、時間外、休日の活動については職員室及び寮に時間外活動の届を書き、周知する。
  - ・ 部活動の休日活動など特別活動指導の手当てについては事務から案内される。
  - ・ 活動教室の管理責任は顧問が負い、鍵の開閉も同様に顧問が行う。

- ・ 日常的に活動場所の清掃（掃除）、整理（ゴミ、不用品）、整頓（物品の片付け）を指導する。
- ・ 部費、遠征費などについては生徒総会で決定する。

部名	顧問	場所	部名	顧問	場所	部名	顧問	場所
アルペン	池田	1年HR	美術	福澤	造形室	文芸	吉田	図書室
スキー	林	屋外		川崎		組立室	軽音楽	大木
クロスカントリー	棚橋	XC施設	工芸	川添	野村		家政	南波
スキー		屋外		押見		澤口		
バドミントン	碓矢	体育館						
	土井	2年HR						

(2) 巡視、点検作業

服装・髪型点検…生徒指導部が担当して指導する。  
 ・ 帰省明け後の集会で全教員が点検をする。  
 ・ 帰省明け後のHRで生徒指導部教員が点検し、適宜その場で指導する。  
 ・ 上記2点の観察・指導結果を生徒指導部長が集約し、学級担任と指導を相談しながら事後指導する。  
 H27年度の懸念されるポイント  
 ・ 頭髪の長さ、加工等細かい点での見過ごし  
 ・ 校章のバッヂやボタンなど細かい点での見過ごし  
 ・ 制服の不備、ほつれ、汚れなどを保護者が把握していないことへの危惧  
 → 小さなことでも学級担任と全教員が連絡、相談

登校時巡視  
 ・ 朝の教員打合せ後～08:15まで（交差点付近～寮まで右表参照）  
 ・ 学級担任はHR内、学年担任はチャイム席指導など、分担で適宜行動する。  
 ・ 悪い点があればその場で声をかけて直させるが、小さなことでもすぐに生徒指導部へ報告相談する。  
 H27年度の懸念されるポイント  
 ・ 体育館横などからのショートカットをする生徒  
 ・ ネクタイなし、靴ひも緩みなどの中途半端な身だしなみの見過ごし  
 ・ プレザーとセーター・ベストなどの関係を分かっていない生徒  
 ・ あまりにも多くの教具を抱え、難渋する場面の確認  
 ・ 登下校時にはヘッドフォンなどを使用しないよう注意（交通安全の習慣づけ）

月	福澤
水	土井
金	野村

南波  
必要時に  
玄関内で

舎監時の巡視  
 ・ 舎監業務のあいだ寮内外を巡視し、気づいたことや指導したことを「舎監室ノート（新設、舎監長管理）」に記入する。  
 （期間や方法は指定せず重点的に必要時にはアナウンス、積極的に全教員で）  
 H27年度の懸念されるポイント  
 ・ 17:50、19:50の帰寮遅刻が増加  
 ・ 寮ロビー、福祉センターの公園、神社、河原、プール横ベンチなどでの行き過ぎた男女交際  
 ・ 娯楽室の清掃、整理整頓（清掃時間内で担当学年に指示等）

昼休み開錠作業  
 ・ 12:40までに図書室を開錠、13:05予鈴が鳴ったら施錠する。  
 ・ 図書室等に常駐する必要があるが、廊下等で生徒の観察、気になることはすぐに生徒指導部へ相談する。

月	火	水	木	金	
大木	林	棚橋 (大木)	押見	川崎	概ね左表担当だが、5校時の授業がある場合には「代わってください」と声をかける。余裕のない指導はよくないので遠慮なく代わってもらう。